

ネットワーク通信



山梨県障害者差別解消支援ネットワーク会議

- 第33回山梨県障害者の主張大会
- やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語作品展

No49
2023.1.25

事務局:山梨県障害福祉課
〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
Tel 055-223-1460 Fax 055-223-1464
E-mail shogai-fks@pref.yamanashi.lg.jp

第33回 山梨県障害者の主張大会

「第33回山梨県障害者の主張大会」が、令和4年12月7日（水）に行われました。また、やまなし心のバリアフリーを広げるポスター・標語作品展も同じく開催されました。いずれも山梨県防災新館オープンスクエアを会場として行われました。

この大会は、毎年、障害者週間（12/3～12/9）に合わせて、県民の皆様が障害のある方の日頃の思いや障害について理解を深め、障害のある人もない人も共に暮らす「共生社会」を実現するために開催されています。

今年度は、7名の方が自らの思いを熱心に主張していました。

最優秀賞 「暗やみから明るいほうへ」

吉田 沙緒里さん

自らのもつ病気に対して、いやな顔一つ見せずに笑顔で対応してくれる人々から明るさを得た経験から、周りの人たちの支えや笑顔があれば、どんなに苦しくても明るい道がきっと見えてくるから、どんなこともあきらめないでほしい、辛くても心を閉ざさないでほしいと呼びかける。



発表の様子

新型コロナの関係から発表者の関係者のみの参加となりました。

講評する
小畑文也山梨大学大学院教授
発表一つ一つに丁寧な講評をしていただきました。



優秀賞 「自分の障害をオープンに」

渡邊 美夏さん

障害者雇用により学童保育で働くようになった発表者は、職場の中で自分の病気や障害をオープンにすることにより、理解や合理的配慮を受けていることに感謝し、今後も自分にできる仕事を一生懸命に頑張っていこうという決意を述べ、障害者でも無理なく仕事ができる社会の実現を語る。

特別賞 「私が生きてきた証し」

羽田 京子さん

入院中の病院での経験を生かし、病気から回復するために、今苦しんでいる人のサポートをしていきたいと考え、ピアサポーターを目指している発表者は、障害者の小さな発信に気づき、お互いに助け合って生きていく障害者福祉のあり方について共に考えていこうと呼びかける。

特別賞 「視覚障害者も安心安全に歩ける世の中を」

山内 美和さん

点字ブロックの上を歩いていると、ブロック上の駐車や立ち話、並列して歩く人たち等様々な障害を感じるという経験から、自分の身は自分で守ることが大切であると語り、白杖と点字ブロックを多くの人に理解してもらうことと、安全安心に歩ける世の中の実現に向けての決意を語る。

努力賞 「わたしががんばっていること」

川口 穂乃佳さん

支援学校卒業後に会った茶道について、興味を持ったことや難しく感じたこと、心が落ち着く場面などを語る。あいさつのこと、様々な目にする事耳にすること、作法のことなど、自らが感じたことを細かな視点で話した。茶道を通して、人々が仲良くできるように望んでいることを語る。

努力賞 「大切な人」

阿部 優一さん

今まで出会った「大切な人」の言葉から、多くの大切なことや優しさを教えられた経験を通して、周りの人たちに少しずつでも伝えていきたいと述べ、世の中の人たちが皆がんばって生きているのだから、これからも小さな幸せをたくさん見つけるために前を向き生きていくという決意を語る。

努力賞 「『こころの健康』と共に」

上村 優さん

ある講座で「こころの健康」に出会い、それは発表者に仕事への意欲を引き出させた。職場の人々と支え合いながら、仕事での辛いことにも一つ一つ乗り越えることができた。これからも「こころの健康」と共に歩むことに心がけ様々なことに無理なく取り組みたいと決意を語る。

やまなし心のバリアフリーを広げる

ポスター・標語の作品展

県では、毎年、障害のある人とない人が相互に人格と個性を尊重し合い、共に暮らすことができる「共生社会」への意識を高めることをテーマに、ポスターと標語を広く県民から募集し優秀作品を表彰する取組を展開しております。

作品展では、応募していただいたポスター21点、標語94点を展示しました。受賞作品を紹介します。



「心のバリアフリーを広げる標語」受賞作品

1 差別を、
しないさせない
ほっとかない
他者を、
理解する
思い遣る
尊重する

2

福元 秀さん

優秀賞

一般の部

ゆっくりな子もいれば
早い子もいるけど
みんなでなかよくしようね

宮下 一花さん

富士吉田市立富士小学校二年

佳作

差しのべた
手と手で伝わる
思いやり

遠藤 大和さん

甲斐市立双葉中学校二年

佳作

気づかいと
一人一人の尊重が
共生社会への第一歩

小山田茶味さん

忍野村立忍野小学校五年

優秀賞

小中学生の部

「心のバリアフリーを広げるポスター」受賞作品

【小中学生の部】

優秀賞；
『尊重しようバリアフリーマーク』



中山 京香さん
(春日居中学校1年)

佳作；
『みんなで助け合おう（バリアフリー）』



杉本 愛佳さん
(八幡小学校5年)

佳作；
『共生社会を目指して』



古久保 遥斗さん
(竜王中学校3年)

【一般の部】

優秀賞；
『心温まるバリアフリー』



蔦木 瑚那さん
(駿台甲府高校1年)

佳作；
『知ることから始めよう』



田中 優菜さん
(駿台甲府高校1年)

佳作；
『「気づく」ことが第一歩』



藤森 叶羽さん
(駿台甲府高校3年)

標語・ポスターコンクールは、来年度も同様の時期（9月上旬締切）に行われる予定です。実生活の中で感じたこと、見聞きしたことを作品として応募していただけたらと思います。ここ数年一般の部の応募が少なくなっています。高校生以上の皆さん、ぜひよろしくお願ひします。

なお、次号は、第2回障害者差別解消支援ネットワーク会議（2月下旬開催）の報告を中心にお伝えします。